

7月のほけんだより

2023. 7.1 発行
田園調布学園大学
みらいこども園
(看護師 板橋 裕希子)

日に日に陽射しが強くなり心弾む夏がやってきました。水遊びでは元気いっぱいの子どもたちです。熱中症にも注意が必要な時です。プールや水遊びの時も体の中からの水分補給を忘れないようにしましょう。全国的にヘルパンギーナや胃腸炎、夏のかぜが流行っています。手洗い、うがい、換気、必要な時はマスクをするなどの感染対策とともに疲れた時はゆっくり休み体調管理に気を付けながら過ごしましょう。



《流行警報》

ヘルパンギーナは所謂夏かぜのひとつですが川崎市も流行警報がでました。

みらいこども園でもヘルパンギーナに限らず発熱を繰り返したり、兄弟で別々の感染症に罹ったり、お休みする子ども達が増えました。手洗いやうがいの声掛けをしたり一緒に行ったりしています。症状が良くなっても数週間、便の中にウイルスが排出されるかぜも多くあります。トイレの後はしっかり手洗いしましょう。気になる症状がみられたら受診しましょう。



◇ヘルパンギーナ

38~40℃近い突然の発熱。
上顎やのどの奥にできる小さな水疱。
手足口病と似たような発疹がでますが口以外には発疹が出ません。喉が痛くて食事や水分が摂れず脱水になってしまうこともあります。



◇フル熱(咽頭結膜熱)

38℃以上の高熱。
のどの腫れと痛み。
目の充血やまぶたの裏の赤み。
プールに入らなくても飛沫感染や接触感染でうつります。アデノウイルスが原因ですがアデノウイルスにはたくさんの種類がありその中の一つです。

健診のお知らせ

7月13日(木) 13:00
6月までに園医健診を受けられていない園児

※都合により日程が変更になることがあります。その都度事前にご連絡いたします。



虫刺されの予防

虫刺されの痒みから掻き壊してしまいとびひになってしまうこともあります。

園ではレモンガラスとユーカリのハーブオイルと精製水で作った虫よけスプレーを使用しています。

シールタイプの虫よけ剤は落下したり、その際に小さい子どもが口にいれたりする恐れがありますのでご遠慮ください。

